

(資料3)

第5期病院経営システム（財務会計システム）構築及び
運用に関わる業務委託契約

総合評価一般競争入札

落札者決定基準

令和7年12月

地方独立行政法人大阪府立病院機構

目次

1	提案条件の基本的な考え方	2
1.1	提案内容の評価	2
1.2	入札価格の評価	2
1.3	総合評価の方法及び落札者の決定方法	2
1.4	有効数字	3
2	提案内容の評価(機能評価点)	3
2.1	配点方法	3
2.2	評価点の考え方	4
2.3	重み付けの考え方	4
2.4	機能評価点の計算	4
3	入札価格の評価(価格評価点)	5
3.1	入札価格に対する配点	5
3.2	価格評価点の算定	5
4	全体の点数配分	5

提案書等の評価にあたり、提案内容を公平かつ客観的に評価し、最適な業者を選定するため、システム仕様面および価格面の2つの観点から評価する。

提案書等については、「提案募集要件」により作成し、期限までに提出すること。

なお、この資料において価格が記載されているものは、全て消費税および地方消費税を除いたものである。

1 提案条件の基本的な考え方

落札者決定に当たっては、大阪府立病院機構(以下「当機構」という。)にとって最適な事業者を選定するため、提案内容の評価に提案価格の評価を加算する総合評価方式を採用する。

評価に当たっては、当機構が定める第5期大阪府立病院機構病院経営システム構築及び運用に関わる業務委託契約落札者選定評価委員会(以下「評価委員会」という。)に諮って評価点を決定し、総得点の最も高い者を落札者とする。

1.1 提案内容の評価

「提案書」の内容については、落札者決定基準別紙(提案書評価表)に基づき、「機能評価点」を与える。

1.2 入札価格の評価

「提案見積」の入札価格については、後に示す計算式に基づき、「価格評価点」を与える。なお、「価格評価点」については、入札価格が入札予定価格を超えた場合は、落札者とししない。

1.3 総合評価の方法及び落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限の範囲内で入札書を提出した者の中から総合評価点の最も高い者を落札者とする。
- (2) 以下については失格とする。
 - ① 企画提案審査資料の提出を行わなかった者
 - ② 仕様を満たさないことが明らかな提案を行った者
 - ③ 各提案項目において、企画提案審査資料の記載を行わなかった者又は落丁等により提出を行わなかった者
 - ④ 機能評価点の合計が0点とされた者
- (3) 総合評価点数の最も高い者が2以上あるとき(同点のとき)の対応
 - ① 入札者それぞれの機能評価点異なる場合は、機能評価点が高い者を落札者とする。
 - ② 入札者それぞれの機能評価点及び価格評価点が同じ場合は、当該入札

者の立会いのもと、くじ引きにより落札者を決定する。この場合、当該入札者は、くじを辞退することはできない。

- (4) 入札参加資格者に提案内容に関するプレゼンテーションの機会を与え、質疑応答を行う。このヒアリングに参加しなかった入札参加資格者の総合評価点は0点とする。

1.4 有効数字

「価格評価点」については、小数点第一位までを有効とし、小数点第二位を四捨五入する。

2 提案内容の評価(機能評価点)

2.1 配点方法

総合計を 500 点として、以下の分類ごとに配点する。

分類		配点
1. 本業務の主旨・目的		25
1. 1. 本業務に対する理解		25
1. 1. 1. 本業務の目的・概要についての理解		10
1. 1. 2. システム化の実現方針		15
2. 提案者に関する情報		75
2. 1. 提案者の概要		25
2. 1. 1. 提案者に関する概要		5
2. 1. 2. 導入実績		15
2. 1. 3. 参加資格等		5
2. 2. 業務推進体制		50
2. 2. 1. 業務推進体制・責任者(構築、運用保守)		25
2. 2. 2. 当機構と事業者との役割分担/作業分担(構築, 運用保守)		25
3. 調達仕様書要件に対する提案		250
3. 1. 機能要件		150
3. 1. 1. 予算管理		55
3. 1. 2. 債権管理		35
3. 1. 3. 債務管理		35
3. 1. 4. 購買管理		25

	3. 1. 5. 決算	55
	3. 1. 6. 固定資産管理	25
	3. 1. 7. 共通	20
	3. 2. 構築役務	100
	3. 2. 1. 構築スケジュール	25
	3. 2. 2. プロジェクト管理要件	25
	3. 2. 3. 設計・構築・テスト要件	25
	3. 2. 4. システム切替要件	25
	3. 3. 運用保守	50
	3. 3. 1. 運用・保守要件	50
合計		500

2.2 評価点の考え方

- (1) 「2.1 配点方法」の評価分類項目単位の採点(評価採点)は、0～5 までの6段階評価とする。

	基準	評価採点
①	非常に優れた提案である	5
②	①③の中間レベル	4
③	当機構で想定していた提案である	3
④	③⑤の中間レベル	2
⑤	提案内容のレベルが非常に低い	1
⑥	有効な記述がない	0

2.3 重み付けの考え方

落札者決定基準別紙(提案書評価表)のとおり、分類の中に評価項目を設定し、重要度に応じて、それぞれ重み付けを行う。

2.4 機能評価点の計算

機能評価点の算定は、以下のとおりとする。

- 評価点 = 評価採点 × 重み付け
- 落札者決定基準別紙(提案書評価表)の各小項目において0点となる項目が1項目でもある場合は、機能評価点を0点とする。
- 各項目の出席評価委員の平均点による評価とする。小数点以下が生じた場合は、小数点第二位を四捨五入する。

3 入札価格の評価(価格評価点)

入札価格の評価は、以下の手順に従って行う。

3.1 入札価格に対する配点

配点	500 点
----	-------

3.2 価格評価点の算定

価格評価点の計算は、以下の式で行う。

$\text{価格評価点} = 500 \times \frac{\text{最低価格応札者の入札価格}}{\text{当該応札者の入札価格}}$

4 全体の点数配分

機能評価点と価格評価点の配分は、1:1 で、満点の合計を 1,000 点とする。

$\text{総合評価点 (1,000 点満点)} = \text{機能評価点 (500 点満点)} + \text{価格評価点 (500 点満点)}$
--